

新年の始まりは、新たな扉を開けるチャンス！皆さんに挑戦したいことは何ですか？



★しもむーが多忙で身動きが取れないため、まーびーが代打を務めました。



編集後記

新年最初の協力隊通信！ということで、ページ数と内容の量、そして紙の質と、「新しい扉」を開いてみました。楽しんでいただけましたでしょうか？

実は今回の通信では、全編にわたり鳥海修さんが設計に携わったフォントを使用しています。ぜひ、「水であり米」のように自然に読めてしまうフォントの数々にもご注目ください！(pei)

ゆざまち協力隊のつぶやき



渡辺真央 @DX 推進支援・スマホ道場初代師範

白鳥の「キュッキュッキュ~」という声が聞こえると、空を見上げて探してしまう。隊列を組んで羽ばたいている真っ白な翼。その向こうに真っ白な雪をかぶった鳥海山。なんて美しい場所！



吉田実 @遊佐高暮らしのコーディネーター

やりたいことがたくさん。時間も体力も足りなくて何もできていないと焦る日々。でも、人生ってそういうもの。大丈夫だから、焦らず、ゆっくりと、着実に。私はそういうタイプ。今年も、一呼吸置いて、一步一歩進んでいきたいものです。



竹内万葉詩 @遊佐高暮らしのコーディネーター

旧年中も遊佐の皆さんに沢山お世話になりました！ありがとうございました。本年も実り深い、すてきな一年となりますように。



渡辺力 @観光振興・ジオパーク推進

冬ですね。新酒の季節ですね。今年は太らないように自分をコントロールしながら過ごしたいですね。あと気づいたら24歳になりました。あと一年でアラサーという事実にショックが隠せません。強く生きてます。



下村俊太郎 @遊佐高教育コーディネーター

年末年始にかけての時期は、世界に住んでいるみんなで一つの行事に向かっている感じがして、毎年温かい気持ちになります。みなさんほどどんな年末、年始でしたか？今年もよろしくお願いします！



秦秀平 @DX 次世代人材育成支援・スマホ道場2代目師範

冬ですね。雪との戦いを想像しつつ、頑張っていきたいと思います。本年もどうぞ、よろしくお願いします。



早坂豊美 @情報発信・水循環保全啓発

私の大好きな言葉、仰峯不屈。この言葉は高い志を持ち挑み続ける事を意味。昨年は人生どん底に落ちたけど、協力隊採用!!! 今が這い上がりのチャンス。いつだって今が最高のチャンスなんや！



白井駿平 @情報発信・水循環保全啓発

2024年は人生が大きく動いた一年でした。遊佐町に出会い、その魅力に惹かれ、移住し。2025年は遊佐の一年を最初から最後まで味わって、もっと町に根を張っていきたいな。



新たな扉を開くぞ！の1月号



来ちゃいなよ。
ゆざまち
遊佐の魅力を発信するWEBメディア



「来ちゃいなよ。ゆざまち」facebook
@yuzamachicom



「ほほほめくり！ゆざ！」Instagram
@himekuri_yuzu

作品制作の裏側

今回のCM制作は7月から始まりました。作品提出までの怒涛の約4ヶ月をダイジェストで振り返ります。まずはテーマ決め。CM制作において、このテーマ決めがとっても大事。多数のアイデアが出た中やはり今回は、4ヶ月前の3月に第58回吉川英治文化賞を受賞した、遊佐町出身の書体設計士、鳥海修さんを題材にしようと決りました。

テーマが決まれば次は筋書き作成。ここが大変でした。伝えたいことをいかに15秒の中に収めるかや、滑稽なのが真面目なのかどんな雰囲気で伝えるかなど、筋書きを決めるのに2週間を

要しました。映像内にフォントを映すことに決めたのもこの時でした。ここまで来たら撮影あるのみ！小道具を手作りし、海・川・田んぼと自然に飛び込みながら撮影を重ねました。最終盤には鳥海さんにも実際に遊佐にお越しいただき、文字制作の様子やナレーションの撮影にご協力いただきました。また、企画・撮影で、前回のCM大賞でもお世話になつた株式会社オリーヴさんに今回もご協力いただき、0.1秒単位でこだわつた絶妙な編集の要望にもお応えいただきました。皆さんお力添えありがとうございました。このようにたくさんの方と思ひが集結した作品。グランプリ作品として皆さんにお目にかかるのとを、とても誇らしく思っています！



グランプリを受賞したことでの年間300回のCM放送権を獲得しました！また、他のいくつかの県でも放映されるとのことです。遊佐町のふるさとCMを、ぜひ今回もテレビでたくさんお楽しみください♪



★★★ 告知 ★★★

地域おこし協力隊 令和6年度 活動報告会



協力隊の活動でどんな成果が生まれたのか。
隊員たちは普段どんな生活をしているのか。
そんな疑問を持つあなたに。
私たちの一年間の集大成をご報告します。
どなたでもご観覧いただけます。
お気軽にご来場ください♪



日付 2025年2月14日(金)
時間 13:30~16:00
場所 遊佐町役場議場

発見！協力隊のお仕事 Vol.2

「地域おこし協力隊って、何してるの？」そんな疑問にお答えするこのコーナー。
今回は、「ジオパークのことなら何でもござれ！」なこの人にインタビューを行いました！

なんでも面白がりながら 遠慮せずに飛び込む

観光振興

鳥海山・飛島ジオパーク
推進業務担当

渡辺 力

わたなべ りき
(愛称: りっきー)

好きな遊佐町のお店：
最初に食べた芋煮を親だと思っているので
グリーンストアの芋煮が売っていたら絶対
買ってしまいます。



Q. 普段、どんな活動をしていますか？

普段は遊佐町の観光振興にかかるお仕事と、鳥海山・飛島ジオパーク活動の推進業務を行っています。ただ、まずは自分が遊佐町やジオパークを知るため、色々なところに顔を出して楽しみながら勉強をしている日々です。また、町内の様々な場所・場面を映像記録として残したいと思い、あらゆる場所でビデオカメラを回したりもしています。青い服を着てカメラを回している髪の男がいてもそれは大体僕なので、どうか通報しないでください。



↑鳥海山にもカメラを携えて登ります。腰が砕けそうでした。



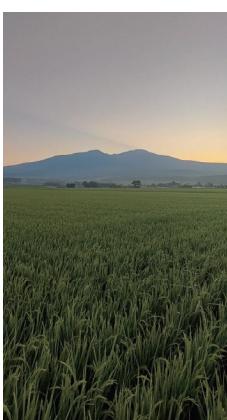
↑町内中学校での学習では班ごとに寄り添ったアドバイスを心がけています。繰り返しますが怪しい者ではありません。(撮影: 五十嵐和一さん)

Q. 最近特に大変だった活動内容について教えてください。

とにかく楽しみながら業務をしているので、活動で大変だと思うことは基本的にありません。ただ、山・川・浜と自然の中に入ってる活動が多いので、日々自分の体力のなさを痛感します。また、ジオパーク学習の補佐で町内の学校に赴く際には、子どもたちの柔軟な発想に驚きつつ「彼ら、彼女らの求めている答えは何か」を考えながら受け答えをするのは難しいと感じています。そして、その受け答えをより正確なものにすべく「もっとジオや遊佐のことを勉強しなければ！」と奮起させられているのも事実です。



↑地味に体力を消費したジオサイト保全活動の様子。



Q. 活動の中でやりがいを感じるのはどんな時ですか？

ジオパークの活動は表に出ない地道な活動も多いですが、観光地にいるお客様に世間話の中で場所の説明をしたり、子どもたちに自分のジオや町に関する知識をお話ししたりすると喜ばれことが多いんです。そんな時はこの活動に関われて幸せだなあと思いますし、もっと多くの人に届くように発信していかないとなあと思います。やりがいとは少し違うかもしれません、地域の活動、地球の活動（火山活動など）、様々な文化活動を「ジオの眼」で見られるようになってから活動の面白さが倍増した感じがあります。広報「ゆざ」に載っているジオパークコラムでもジオパークの知識を深められるので、ぜひ読んでみてください！

↑この美しい鳥海山に見守られながら多くの恵みと様々な歴史・文化を紡いできた遊佐町のすばらしさを、ジオパークというネットワークを通じて1人でも多くの人に伝えられるよう、尽力したいと思います。

発見！協力隊のお仕事 次回予告

遊佐高コーディネーター（吉田実隊員、竹内万葉詩隊員、下村俊太郎隊員）（予定）

旧年中はお世話になりました 本年もよろしくお願ひ

